

カレー食べて元気に

倉吉市食生活改善推進員連絡協

撮影チームに振る舞う



撮影スタッフ（左）に手作りのカレーを振る舞つた。8日、倉吉市明治町の打吹回廊で撮影群周辺で撮影に臨んでいたエキストラや錦織監督らスタッフが繰々と訪れ、推進員や広田一恭市長によつてもらつたカレーライスをおいしそうに平らげた。

冨里駿助監督（35）は、「お弁当が多い中で温かいものが食べられるのはありがたがいい。昼からの撮影も乗り切られそう」と笑顔。河本会長は「撮影の無事と元気でいられるようパワーを込められた。おいしそうに食べてもらい報われた」と目を細めた。

（井田慎一）

映画『遙かな町へ』

倉吉市内でロケが続く映画『遙かな町へ』（錦織良

成監督）を応援しようと、市食生活改善推進員連絡協議会（河本香会長）が8日、同市明治町の打吹回廊で撮影チームに手作りのカレー

ライスを振る舞つた。心の込もつた温かい料理を食べ、出演者やスタッフがエネルギーを補充した。

提供されたのは、ナスやトマト、カボチャなど野菜をふんだんに使つた「夏野菜ボーケカレー」。推進員計13人が朝8時から約80人分を調理し、打吹回廊に運び込んだ。

正午を過ぎると、白壁土